

# ふれあって山田 便い

## 地域のつながり、ささえあい活動のご案内

ふれあって山田（第2層協議体）ではアンケート調査の結果を基に各地域の皆様と話し合いを重ねた結果「一人暮らしの高齢者の方の安否確認」を各地域主体で活動を始めることになりましたので、お知らせします。

当面の活動：一人暮らしの高齢者の方のお話を伺います（安否確認を兼ねて）



地域のボランティア

訪問の前にご都合はどうかの問い合わせをします

お身体の調子はどうですか？

お困りのことはありますか？

災害時の避難場所は知っていますか？



このベストを着て訪問させていただきます

各地域でボランティアを募集しています

「ふれあって山田」では一人暮らしの高齢者であっても、地域で安心して安全に暮らせる街づくりを目指しています。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



※ 現在のボランティア活動の状況

吉原・柏原・神野々・岸上区が活動を開始しています。

ほか、山田、出塔、野の各区においても活動に向け準備中です。



ふれあって山田の様子

誰もが住み慣れた地域で、いつまでも元気で楽しく過ごせることを願っているはずです。そんな中、介護保険法が改正され、高齢者を主体とした地域づくり（生活支援体制整備事業）が、平成27年から全国の市町村で始まっています。

橋本市においては、地域づくりについて話し合う場（第2層協議体）が、市内9地区に設置され、山田地区においても、平成31年2月8日に「ふれあって山田」を設置しました。山田・吉原・出塔・柏原・野・神野々・岸上から、区長さんをはじめ、自治会役員、民生委員、老人会代表の皆様等、35名の方々に構成されています。協議体の運営は、構成メンバーから選ばれた4人の世話人（生活支援コーディネーター）が中心になって行っています。

「ふれあって山田」では、全体会議で今年度は、まずは「一人暮らし高齢者の方の安否確認」（訪問しお話を伺う）を各地域で進めていくことを決めています。

また、アンケートで要望のあった項目の中から、「買い物支援」について調査・研究をすることも決まっています。

このように、各地域で取り組むこと、全体で取り組むことを並行しながら進めていくことになりました。

これからも、「ふれあって山田便り」を定期的に発行し、各地域の取組状況などの情報を皆様にお伝えしたいと考えています。（尚、ご意見、ご要望がありましたら、下記の生活支援コーディネーターへお願いします。）

連絡先（生活支援コーディネーター：SC）

福井昭兒（090-4306-3798）森本千鶴子（090-1953-0937）

山本光子（090-1891-1326）米坂和芳（090-9880-0467）